

神戸大学長の業務執行状況の確認結果について

令和 7 年 5 月 1 3 日

神戸大学学長選考・監察会議

国立大学法人神戸大学学長選考・監察会議規則第 3 条第 4 号に規定する学長の業務執行状況の確認を以下の通り執り行いましたので、その結果を公表します。

1. 確認の方法

「神戸大学長の業務執行状況の確認に関する基本方針」及び「国立大学法人ガバナンス・コード」に基づき、学長及び監事との意見交換を通じて、学長の業務執行状況を精査した。

なお、精査に際して、以下の資料を参考にした。

- ・学長選考・監察会議からの事前質問に対する学長の説明資料
- ・監事の説明資料
- ・「学長所信表明書」（令和 2 年度および令和 6 年度 学長選考時）

2. 対象となる期間

藤澤学長の任期 1 年目から 4 年目（令和 3 年度から令和 6 年度）を対象として確認を行った。

3. 確認した結果

対象となる期間において、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」を目指し、「KU ビジョン 2030」に基づいて、適切なリーダーシップを発揮し、研究・教育/人材育成・財務/運営における改革と基盤整備の取組みを着実に実行しており、学長としての責務を十分に果たしていることが確認できた。

特筆すべき成果として以下の項目を挙げる。

<研究>

- ・デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク（DBLR）設立による研究教育機能の強化
- ・若手・女性研究者に対する研究環境整備
- ・図書、研究機器および研究支援体制の整備に掛かる基盤整備
- ・自治体・企業・近隣大学などとの連携による地域社会連携体制の構築

<教育/人材育成>

- ・学部・大学院教育の組織改革（新学部および大学院新専攻設置など）・カリキュラム改革および博士課程大学院生への支援体制強化
- ・数理・データサイエンスセンターの強化
- ・リカレント教育推進室設置による地域社会や企業と連携したリカレント教育体制の構築

<財務/運営>

- ・適切なリーダーシップによる組織運営体制の確立
- ・外部資金の獲得実績と財政強化
- ・神戸大学イノベーション（KUI）の強化と神戸大学キャピタル（KUC）創設によるスタートアップ支援体制の構築
- ・大学信用格付けの取得と資金運用体制の構築
- ・神戸大学全てのステークホルダーからなる全学的同窓会「神戸大学校友会」の設立
- ・DX・情報統括本部の設立によるデジタル化推進と情報セキュリティ強化
- ・目的積立金の計画的運用による施設・設備整備

今後の課題として以下の項目を挙げる。

- ・研究においては、デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク（DBLR）の機能的運営による異分野共創研究の更なる成果集積が望まれる。
- ・教育/人材育成においては、国際教育の全学的体制の構築・強化、若手・女性研究者への継続的な支援、また、共通教育改革の具体化による全学教育のさらなる充実が望まれる。
- ・財務/運営においては、国立大学法人は厳しい財政状況に置かれているが、自律的かつ持続可能な財政基盤の強化が望まれる。また、すべての大学構成員が高いモチベーションと誇りを持って職責を果たし、個々のウェルビーイングを実現できる大学組織を築かれることが望まれる。

学長再任後の任期2年間においても、藤澤学長のもとで、中長期的・俯瞰的視点から改革を実行し、神戸大学建学の理念「学理と実際の調和」と「真摯・自由・協同」の精神を重んじた特色ある卓越した国際的な教育研究大学を目指して頂きたい。